

地歴公民科「政治・経済」授業実践紹介

授業者：八幡 信哉

学 年：3年

単元名：労働問題～それで働き続けられますか？SDGsの視点で考える～

本時のねらい

- ①日本の労働問題や外国人技能実習生の現状などの学習を踏まえたうえで解決すべき課題を指摘する。
- ②外国人就労を含め、すべての労働者の権利を保護し安全で安心な働き続けられる労働環境を整備するために何をどう改善すべきかSDGsの視点で捉えグループで意見交換をする。

授業の流れ

- ①第3次ベビーブームはなぜ来なかったのか？本当に解決すべきことは何か？について労働問題と関わらせて、グループで意見交換をする。
- ②新聞記事を読み取り、技能実習生制度のともでどのような人権侵害が起きているのか？グループで意見交換をする。



- ③労働の対価が支払われずに、安い服をつくらされている人々の状況を踏まえて安いものを求めるだけがいいのか？SDGsの視点で意見交換する。

- ④働き続けられる労働環境を整備するために何を改善すべきかグループで話し合ったことを全体で発表し、もういちどみんなで考える。



授業(パフォーマンス課題)のルーブリック

	2	1	0
I 関心・意欲・態度	意見を積極的に発表したり聴いたりして、課題に取り組めた。	意見を考え、課題に取り組もうとした。	考えるのが面倒で、課題に取り組めなかった。
II 思考・判断 III 技能・表現	記事から問題点や課題を読み取り、グループにわかりやすく説明できた。	グループでの意見交換に加わり、他の考え方も参考にできた。	自分から発言せず、人の意見を聞いても、何も思わなかった。
IV 知識 理解	日本の労働問題の現状や課題について理解し、解決策を提案できた。	日本の労働問題の現状や課題について理解できた。	日本の労働問題の現状や課題について考え理解することができなかった。

単元を通して身につけてほしいこと

日本の労働問題や外国人技能実習生の現状などの学習を踏まえたうえで、まとめとして、グループになり新聞記事から各自で読み取った問題点を話しあいます。最初指摘できなかった問題点を他の生徒の指摘で気づいたり、自分の考えを発表したり話し合ったりすることで、課題に対する改善策を提案できるようになってほしいと考えています。そして、この単元での学習を通して、日常生活の場面においても、社会が抱えている様々な課題に気づき、改善策を提案できる生徒になってほしいと考えています。

実践の背景

- 本校は政治・経済の授業で、授業の最初に、ニュースに関する一分間スピーチに取り組みさせています。生徒自身が日頃から、ニュースに関心を持ち、読むこと・考えること・表現することを行う機会を設定することで、主体的な学びの能力を身につけさせることを目標としてきました。
- 地歴公民科を単なる暗記科目と捉え、苦手意識を持っている生徒が多くいます。社会的事象やニュースに興味・関心を持たせ、問題点や課題に気づき、自分のこととして考えさせるにはどうしたらよいか試行錯誤しながら授業改善に向かっていきます。

授業改善のアプローチ

- 最近では、新聞をとっていない家庭がほとんどで、一分間スピーチの記事探しはもっぱらスマホです。したがって記事の内容に関して、社会的背景や問題点にまで言及できていません。教師は、生徒自身が主体的に学びに向かい、記事を読み解く力をつけさせたいと考え、さらには、社会的背景や問題点を指摘し、課題に対して自分なりに改善案を考えられるように単元を設定しました。
- 単元の最後に、グループになり学習した内容に関する新聞記事から課題を読み取らせ、自分の考えを発表したり話し合ったりすることで、自分では気づかなかった点や違うものの見方に触れ、課題への理解を深め、さらには問題解決に取り組むことができるような活動を取り入れました。

単元のヤマ場となる授業場面

単元の構成

第1次（2時間）	第2次（1時間）	第3次（1時間）
授業者により、人口ピラミッドを提示し、第3次ベビーブームはなぜ来なかったか？理由が労働問題と関係あると謎賭けして、労働問題の現状についてどんな問題があるのかみていく。生徒は気づいた問題点をOPPシートに記入する。	働き方改革関連法、月100時間の残業時間上限規制、人手不足のドライバーは5年間猶予、高度プロフェッショナル制度や裁量労働制対象拡大の問題など、働き方改革で過労死はふせげるのか？意見をプリントやOPPシートに記入する。	新聞記事の読み取り、テーマごとに意見交換をする。外国人就労を含め、すべての労働者の権利を保護し安全で安心な働き続けられる労働環境を整備するために何を改善すべきかグループで意見交換をするパフォーマンス課題に取り組む。

パフォーマンス課題

グループでの意見交換のテーマ

- ①第3次ベビーブームはなぜ来なかったのか？本当に解決すべきことは何か？
少子化対策の保育の無償化で産む子どもの数が増えるのか？新たな問題はないのか？
- ②技能実習生制度の実態はどうなっているのか？どのような人権侵害が起きているのか？
このまま、人手不足や人件費削減のために外国人を利用していいのか？どういった配慮が必要か？
- ③労働の対価が支払われずに安い服をつくらされている人々の状況を踏まえて何が問題なのか？
- ④すべての労働者の権利を保護し、安全で安心な労働環境を整備するために、何を改善すべきか？

評価

- ①パフォーマンス課題に対する評価 30%
- ②一枚ポートフォリオによる評価 20%
- ③NIE 課題「人出不足、外国人就労の拡大と人権」のワークシートによる評価 50%

生徒の意見

- ・不安定な非正規雇用が拡大し、収入の面から結婚や出産ができなかった。非正規雇用の解消が必要だ。少子化対策は、保育の無償化より先に、保育士の待遇を改善し保育所を増やさなければ、預けられる人と預けられない人や結婚をあきらめた人との間に新たな格差を生む。
- ・技能実習といいながら人手不足の分野で技能とは関係のない単純労働の受け皿にされている。最低賃金で、賃金未払いや長時間労働などの人権侵害が起こっている。労働に見合う対価を払うべきだ。
- ・国内では、長時間労働を是正し、過労死を防ぐための方策をたてよ。介護や保育などの人手不足を外国人就労の拡大で乗り切ろうとしているが、まず、日本人の待遇を改善して労働力を確保すべきだ。安価な労働力として外国人を扱ったり使い捨てをやめるように法の整備と監視の強化が必要だ。